

## 松戸市立病院後期臨床研修プログラム（神経内科）

1. 研修対象者：初期臨床研修終了者で神経内科の専門領域の研修を希望する者。
2. 研修期間：原則として2年。
3. 研修カリキュラム：下記の経験すべき疾患と習熟すべき手技に対して、週間スケジュールに基づき研修する。

1) 週間スケジュール；基本的に病棟業務が主体をなす。

	月	火	水	木	金
8:25~	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
9:00~	医長回診	医長回診 外来診療	医長回診	医長回診	医長回診 外来診療
14:00~		脳血管撮 影	神経生理 学的検査	脳血管撮 影	神経生理学的検査
15:00~	新患外来				症例カンファ（第3）
16:00~					部長回診
17:00~					
18:00~		退院患者 カンファ	リハビリ カンファ （第2,4）	入院患者 カンファ	退院患者カンファなど

2) 経験する疾患

脳血管障害(虚血性脳血管障害を中心に)、神経感染症(髄膜炎、脳炎など)、神経変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病など)、免疫性神経疾患(多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、多発性筋炎など)、機能的疾患(頭痛、めまい、てんかんなど)、内科的疾患に伴う神経疾患など。

3) 習熟すべき手技

神経疾患における救急手技、急性期および慢性期神経疾患の全身管理、神経疾患におけるリハビリテーション(急性期・慢性期)、脳脊髄液検査、神経放射線学的検査(脳・脊髄MRI, 脳CT, 脳血管造影、脊髄造影など)、電気生理学的検査(脳波、末梢神経伝導検査、筋電図など)

4) その他

研修に応じて、学術集会・学会(日本神経学会関東地方会など)で発表したり、論文発表することが可能である。

4. 研修システムの特徴

神経内科において扱う神経疾患全般(急性期・救急疾患から慢性期疾患まで)についての臨床経験を積むことが可能である。なお、当院神経内科は日本神経学会の教育施設の認定を受けており、そのカリキュラムに準じた臨床研修プログラムを組んでおり、神経

学会専門医の取得を目指すことができる。

#### 5 . 指導スタッフの概要

神経内科部長 小島重幸（日本神経学会評議員・専門医、日本神経治療学会評議員、  
日本神経感染症学会評議員、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医）

医長 宗像 紳（日本神経学会専門医）

医長 溝渕敬子（日本神経学会専門医）

#### 6 . 研修終了後の進路

2年間の後期臨床研修終了後、希望者は千葉大学大学院神経病態学(神経内科)に入学し、  
臨床研究等を行い、学位取得を目指すことが可能である。その他、さまざまな選択が可  
能である。